

企画県土警察常任委員会資料

(平成24年11月28日)

- 1 ブラジル鳥取県人会創立60周年記念式典への参加結果について
【交流推進課】・・・ 1ページ
- 2 国際まんが博開催結果について
【まんが王国官房】・・・ 4ページ

文化観光局

ブラジル鳥取県人会創立60周年記念式典への参加結果について

平成24年11月28日

交流推進課
教育総務課

ブラジル鳥取県人会が今年で創立60周年を迎えることから、これまでの活動に祝意を表するとともに、今後の活動の応援や、県人会関係者等との交流を深めるため訪問団を派遣しました。

1 訪問団

- 【鳥取県】知事部局（藤井副知事、交流推進課2名）、教育委員会（生田教育次長）
県議会（伊藤議長、横山議員、砂場議員、議会事務局職員1名）
- 【市町村】鳥取市（深澤副市長、中西市議会議長ほか3名）、米子市（野坂市長ほか1名）
- 【民間】鳥取ブラジル交流団体連絡協議会会員等12名

2 訪問日程

月 日	行 程
11/15 (木) ~16 (金)	終日 移動日 (関空→サンパウロ) 【サンパウロ泊】
11/17 (土)	AM 開拓先没者慰霊碑参拝 (イビラプエラ公園) PM 「サンパウロ-鳥取友好の森」記念植樹式典 (サンパウロ州環境局森林院森林公園内) ブラジル鳥取県人会主催歓迎会 【サンパウロ泊】
11/18 (日)	AM 県人会創立60周年記念式典 (ブラジル-鳥取交流センター) PM 創立60周年祝賀会・アトラクション 夕方 鳥取県派遣経験者との意見交換会 (県費留学生・技術研修員OB・中堅リーダー等) 【サンパウロ泊】
11/19 (月)	AM 移動 (サンパウロ→アリアンサ) PM 第二アリアンサ鳥取村視察・交流 【アリアンサ泊・ホームステイ】
11/20 (火)	AM 移動 (アリアンサ→サンパウロ) PM 在サンパウロ日本国総領事館表敬訪問 【深夜便にて出国】
11/21 (水) ~22 (木)	終日 移動日 (サンパウロ→関空) 【機内泊】

3 結果概要

(1) 「サンパウロ-鳥取友好の森」記念植樹式典

- ブラジル鳥取県人会創立60周年記念行事の一環として、ブラジル大西洋海岸林の代表的な樹木60品種・約300本を県人会員及び訪問団一同で植樹を行うとともに、訪問団を代表して伊藤議長が挨拶を行った。
- また、ブラジルと鳥取県との交流が未永く続くことを願い、鳥取県から記念品として贈呈する「麒麟獅子」の頭をモチーフとした木工品の披露が行われた。

(2) ブラジル鳥取県人会創立60周年記念式典

- 県人会の活動拠点である「ブラジル-鳥取交流センター」において開催された記念式典において、平井知事のビデオメッセージを放映するとともに、伊藤議長、藤井副知事などが県人会に対し祝辞を述べ祝意を表した。
- ブラジル鳥取県人会長からは、母県からの支援や交流活動に対する謝意が述べられるとともに、今後も引き続きの支援、交流継続を依頼された。
- また、式典の中で、永年の県人会活動に功績のあった特別功労者2名、功労者8名、高齢者2名の知事表彰を行い、副知事から表彰状と記念品を伝達した。

○午後の祝賀会では、県人会所属サークルの芸能披露等が行われ、藤井副知事ほか訪問団もしやんしゃん傘踊りや、銭太鼓の披露を行い、県人会員との懇親を深めた。

(3) 鳥取県派遣経験者との意見交換会

- 県費留学生、技術研修員、中堅リーダー交流事業の成果がどう役立てられているかを検証し、今後の事業運営に反映させるため、これまで鳥取県に来県したことのある者（22名）との意見交換会を実施した。
- 代表で挨拶を行った、元研修生・留学生からは、鳥取県での経験がブラジルでの業務や県人会活動に活かされていることが報告され、今後も制度継続を求める旨発言があった
- 中堅リーダー派遣経験者は、県人会の要職を務めるとともに、元留学生・研修生も職業と掛け持ちしながら、県人会活動に積極的に関わっていることを確認した。

(4) 第二アリアンサ鳥取村訪問

- 1926年に鳥取県が開拓を行った第二アリアンサ鳥取村を訪問し、現地を視察するとともに、村民との交流を図った。
- 本県から教員を派遣している「第二アリアンサ鳥取村日本語学校」において、生田教育次長による書道の特別授業を行い、生徒12名に「平和」という文字を指導した。また、これに合わせ持参した書道道具を日本語学校へ寄贈した。

【参考】

○ブラジル鳥取県人会の概要

- (1) 設 立 昭和27年。鳥取大火への義捐金を集める活動がきっかけとなり、鈴木栄蔵（すずき えいぞう）氏、徳尾恒壽（とくお つねとし）氏の尽力により発足（義捐金は158万9千円集まった）
- (2) 会 長 本橋幹久（平成21年2月～、8代目）
- (3) 会 員 数 約380家族
- (4) 活動状況 各種記念行事・会合・催し物等の開催、県人会誌の発行、母県との各種交流事業（留学生・研修員制度、中堅リーダー交流事業等）の実施、日本文化教養講座等

○第二アリアンサ鳥取村の概要

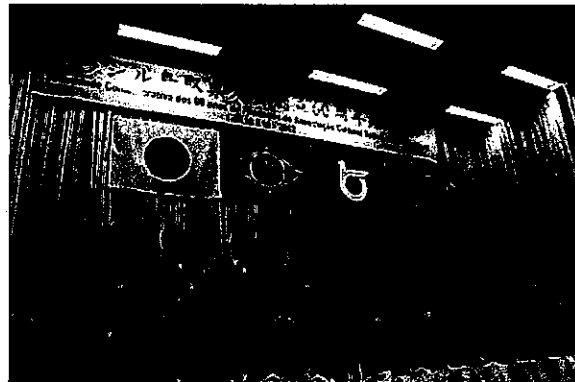
- (1) 世 帯 数 30世帯 約120人
- (2) 代表者等 第二アリアンサ自治会 会長 佐藤 勲
ブラジル鳥取県人会第二アリアンサ支部 支部長 細田英夫
- (3) 移住経緯 1926年（大正15年）に鳥取県がサンパウロ州ミランドポリス郡に3,000町歩の土地を購入して移住者を送り出した。この移住地にポルトガル語で「協同・同盟」を意味する「アリアンサ」という名称をつけた。
- (4) 日本語教師の派遣概要
1994年度より第二アリアンサ鳥取村の日本語学校へ教師を派遣し、日本語指導や日本の社会事情・文化等に関する教育を行っている。



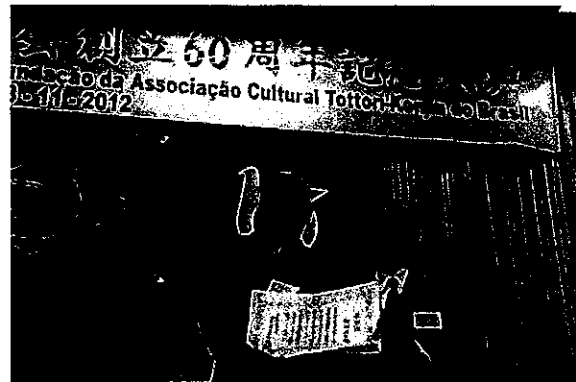
記念植樹式典での伊藤議長挨拶



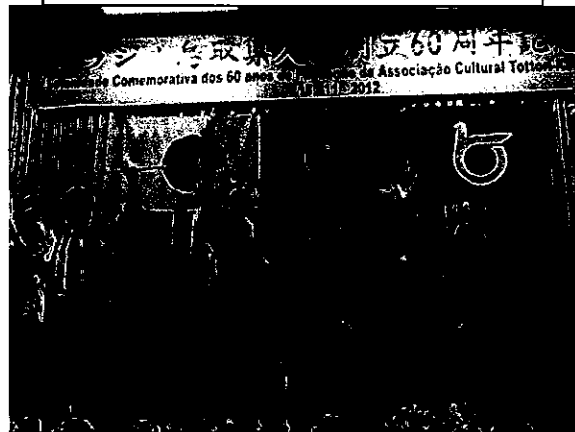
記念植樹式典での麒麟獅子頭除幕式



60周年記念式典での伊藤議長祝辞



特別功労者表彰 加藤前会長への授与



訪問団によるしゃんしゃん傘踊り披露



鳥取県派遣経験者との意見交換会



生田教育次長による書道の授業風景



第2アリアンサ鳥取村主催歓迎会

国際まんが博開催結果について

平成24年11月28日

まんが王国官房

1. 国際まんが博の開催結果

<概括>

- ・ 8月4日から11月25日までの114日間、県下全域で「国際まんが博」を開催し、県と市町村、民間団体が一体となって県内各地でまんがやアニメを題材としたイベントを実施した。期間中の来場者総数は約320万人であり、当初の目標を少し上回った。
- ・ 「国際まんが博」の中核的なイベントである「とっとりまんがドリームワールド」は東部・中部・西部を巡回して開催したが、その来場者は約22万人であり、多くの子ども連れの家族や若者で賑わった。また、来場者の約3割が県外からの来場者であった。
- ・ 「国際マンガサミット鳥取大会」は約4万人の来場者があり、公開アトリエやサイン会などを通じて国内の著名なまんが家との交流や新たに開発した食のイベントなどを楽しんでいた。また、海外から参加されたまんが家の方々にも米子の万灯や皆生温泉など日本文化を体験いただき、鳥取の魅力を実感していただいた。

<まちおこし、観光振興>

- ・ 鳥取市では、国際まんが博期間中、鳥取市出身の谷口ジローさんをテーマにしたイベントが多数開催された。中でも、11月中旬には谷口ジローさんの帰郷の機会をとらえ、原画展示、フランス映画「遙かな町へ」の上映会、本人を交えた座談会などが開催され街が盛り上がった。
- ・ 北栄町では、「国際まんが博」を契機に「コナンを生かしたまちづくり」を官民あげて取り組もうという機運が盛り上がり、地元の関係者で組織する実行委員会が立ち上がった。その結果、コナンナイトウォークなど新しい取組みが始まるとともに、コナン通りに地元の方が新たに飲食店を開設するなど今後の展開が期待される。なお、青山剛昌ふるさと館の入館者も対前年比約5割増と好調であった。
- ・ 米子市では、11月1日から11日までの間、「米子ワンダー」と銘打ち、第2次米子映画事変、ネギ来まつり、エルモールポップカルチャーフェスティバルなどまんがやアニメを題材にした様々なイベントを各主催者が一つにつながって開催され、街に賑わいを生んだ。関係者の間では来年以降も「米子を賑やかに」を合い言葉に連携を図ることとしており、今後の展開が期待される。
- ・ 10月から始まった山陰デスティネーションキャンペーンとの相乗効果で特急列車の乗車率が対前年比で伸びているほか、旅行商品販売実績も増加している。
- ・ 韓国旅行会社が「国際まんが博」を組み込んだ旅行商品を造成し、656名送客するとともに、中国からのチャーター便の就航にも繋がった。また、台湾チャーター便のコースに「国際まんが博」が設定されたことにより台湾からの観光客が増加した。
- ・ ある大手宿泊サイトによると「国際まんが博」期間中の県内宿泊者数の実績は堅調に推移している。(対前年比 8月:104%、9月:108%、10月109%)

<人材育成、教育活用>

- ・まんが教室の開催や故事成語4コマ漫画のコンクール、古事記を題材にしたイラストのコンテストなどが実施され、小中高生が自らまんがを描いてみる取組が県内各地に盛り上がってきた。
- ・県下の約半数の高校が参加して、「高校生まんが王国とっとり応援団」が結成され、まんが家を招いての似顔絵描き教室開催や国際マンガサミット会場での作品展示、鳥取を題材にした合同作品集の刊行などに取り組みされた。また、この応援団は平成27年度に鳥取県で開催される近畿高等学校総合文化祭への参加を視野に今後も活動を継続する。

<産業振興、商品開発>

- ・米子市内に空店舗を再活用した「アルファービル」が完成し、まんが・イラストの制作会社（株）ラ・コミック）が入居するとともに、（株）ガイナックス（アニメ制作など）の直営店や株式会社スター（人形制作）が進出した。
- ・食のまんが家との協働により新たに描き下ろしたまんが絵の包装紙を使用した駅弁が開発され、販売された。
- ・国際マンガサミットに参画いただいたまんが家と地元の料理家との協働による新たな名物料理の開発が行われ、同サミット会場でお披露目された。
- ・平成25年1月には、デジタルハリウッド株式会社が米子市で「デジタルハリウッド STUDIO 米子」を開設し、若手の育成に着手する予定である。

<情報発信>

- ・東京での「AKIBA で探すまんが王国」や大阪での「NHKイベント」に積極的に参加し、まんが王国とつとりのPRを行った
- ・タレントのトリンドル玲奈さんとタイアップし「まんが王国とっとり」の全国的PRを実施した。「めざましテレビ」など大手キー局の情報番組で取り上げられ、8月4日の開幕式はNHKのニュースでも取り上げられた。

<まんが家等とのネットワーク>

- ・国際まんが博のイベントを通じ、鳥取県出身のまんが家や最近デビューされたまんが家などとの新たなパイプができた。
 - 8月 藤原芳秀さん（藤原芳秀原画展／渡辺美術館）
 - 10月 長谷川洋さん（ANIME空間にちなんタウン／日南町美術館）
 - 10月 赤互もどむ（古代王国ナギサプロムナード／皆生温泉）
- ・米子市在住まんが家寺西竜也さんを中心に県内まんが家のネットワーク「描くひと」が立ち上がった。

<他県等との連携>

- ・高知県や川崎市から、今後、まんがを軸とした連携を図っていこうとの提言が持ちかけられてきた。

2. 今後の取組方向

◆まちづくり、観光振興面の取組

- ・まんが王国とっとりの新たな拠点の整備や境港市、北栄町など地域拠点の拡充支援について検討
- ・国際まんが博のノウハウ、人脈等を活かした「ポストまんが博」の開催
- ・まんがイラスト列車を活用した県内周遊や温泉、食など既存の観光資源と連携した魅力ある旅行商品造成の働きかけ

◆まんが・アニメ関連産業振興面の取組

- ・米子アルファビルなど民間実施団体との連携強化
- ・まんがと食の連携商品などまんが・アニメを活用した新たな商品開発等の継続支援

◆人材育成や教育活用面の取組

- ・国際マンガコンテストの継続実施
- ・漫画故事成語の副教材活用の推進

◆まんがを活用した情報発信面の取組

- ・まんが王国とっとり通信の発行、県政だより表紙へのまんが活用の継続
- ・韓国、台湾など海外マンガイベントへの出展
- ・高知県、川崎市、京都国際マンガミュージアムなど関係自治体・団体との連携強化

国際まんが博来場者数の内訳

区分	主なイベント	来場者数
常設拠点	○水木しげるロード・水木しげる記念館 ○青山剛昌ふるさと館 ○わらべ館 等	1, 794, 905人
県主催事業	○とっとりまんがドリームワールド	222, 497人
	○第13回国際マンガサミット鳥取大会	41, 040人
	○地域スペシャルイベント	44, 538人
	①谷口ジローのゆかりの街を歩こう	うち 7, 908人
	②名探偵コナン巨大迷路で少年探偵団を探せ	うち20, 168人
	③ゲゲゲの鬼太郎妖怪の森	うち15, 400人
	④大泥棒トレジャーキングからの挑戦状	うち 1, 062人
	○まんが王国とっとりぐるぐるスタンプラリー	96, 560人
	○国際まんが作品展	19, 364人
○1コマ漫画作品展	89, 482人	
県共催事業	○鳥取県×明治大学連携展示企画 アニメが描く希望と未来展	7, 955人
	○とっとりアニカルまつり	20, 000人
	○ガイナックスアニメ展	9, 438人
	○第7回ゆるキャラカップ in 鳥取砂丘	11, 500人
県支援事業等 (市町村・民間 団体主催)	○みんなだいすきアンパンマン やなせたかしの世界展 ○安彦良和原画展ー因幡と古事記千三百年ー ○エヴァンゲリオンレーシング ○鳥取梨ものがたりパネル展 ○私の八月十五日～漫画家たちの終戦の記録～ 等	860, 477人
合 計		3, 217, 756人